

ふりがな	たかはし あきこ
氏名	高橋 亜希子
担当科目	臨床教育学、子ども・学校論、教育課程論、基礎演習ⅠA・ⅠB・ⅡB、ゼミ (心理人間学演習) など
専門分野	臨床教育学 中高生の学校場面における自己形成支援 探究学習
担当ゼミ	臨床教育学ゼミ
自己紹介	<p>教育学、臨床教育学担当の高橋亜希子です。2017年から南山大学に来ました。以前は教員養成大学で小学校教員の養成に関わっていました。</p> <p>私は、学校での活動を通して、高校生が自己形成を行っていく過程に関心を持っています。博士論文では、卒業研究という探究学習を行う高校で、テーマ設定や学習過程に関する調査を行いました。高校時代は、感受性も強く、エネルギーもあり、テーマの探索や学外の人と出会うこと、文章を書くことで大きく成長します。そんな、生き生きと活動している高校生の姿を見るのが好きです。高校での自主活動、参加型の学習にも関心を持っています。</p> <p>現在、高校の教育や大学受験の在り方が大きく変化しています。その背景には、知識中心・受動的な高校教育から、より思考中心で探究的な学習を目指すという政策の方向性があります。実施には課題がたくさんあります。一方で探究学習を中心にした新たなカリキュラムや参加型の授業も生み出され、高校の授業も変化しています。その中で高校の授業の可能性を考えていきたいと思っています。</p> <p>詳しくは下記をごらんください。</p> <p style="text-align: center;">南山の先生</p> <p style="text-align: center;">https://www.nanzan-u.ac.jp/nanzan_faculty/foh/hp/012261.html</p> <p style="text-align: center;">研究業績</p> <p style="text-align: center;">https://porta.nanzan-u.ac.jp/research/view?!=ja&u=103582</p>
研究手法	主として質的研究（インタビュー・観察など）。論文を書く際、そのテーマに応じて、アンケート、文献研究を行うこともあります。